

年間授業計画 新様式

淵江 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 家庭科

科目 家庭基礎

教科：家庭科

科目：

家庭基礎

単位数：

2 単位

対象学年組：第 2 学年 A組～ G組

教科担当者：古賀 ・ 伊賀並

使用教科書：（ 家庭基礎 自立・共生・創造 ／東京書籍

教科 家庭科

の目標：

【知識及び技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図る。

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する など、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活向上を図ろうとする実践的な

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。		家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態 配 当 時 数
単元 生涯を見通す ・自立した生活を営むために、生涯発達の観点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。	1 人生を展望する ①人は生涯を通して発達する ②青年期の課題 2 目標を持って生きる ①人は意思決定の連続 ②未来予想図を描く □ 視聴覚教材 □ ワーク	【知識・技能】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題について問題を見いだすことができる。 【思考・判断・表現】 解決策を構想することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしていることを、文章で表現できる。	○	○	2
単元 人生をつくる ・生涯を通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ・家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 ・仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結び付きについて理解する。 ・どのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。	1 人生をつくる ①「人生100年」時代を生きる ②一人で暮らす ③パートナーと生きる ④子どもと暮らす・親を支える ⑤自分のライフスタイルを選ぶ 2 家族・家庭を見つめる ①家族・家庭をどう捉えるか ②社会の中の家・家族 ③家族と法律 3 これからの家庭生活と社会 ①家庭生活を担う □ 視聴覚教材 □ ワーク	【知識・技能】 ・生活発達の視点で青年期の課題を理解している。 ・家族・家庭の機能と家族関係について理解を深めている。 ・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 ・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・家庭を築くことの重要性について問題を見出して課題を設定し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現することができる。 ・自分の意思決定に基づいて責任をもって行動することについて問題を見出して課題を設定し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	6
単元 食生活をつくる（1） ・よりよい食習慣を身に付け、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。 ・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身に付ける。	1 食生活の課題について考える ①青年期の食生活の課題 ②「食べる」とは ③食生活の課題 ④ 食生活の変化 2 食事と栄養・食品 ①栄養と栄養素 ②炭水化物 ③脂質 ④たんぱく質 ⑤無機質 ⑥ビタミン ⑦その他の食品 3 食品の選択と安全 ①食品の選択 ②食品の保存と加工 ③食品の衛生と安全 4 生涯の健康を見通した食事計画 ①栄養バランスの良い食事 ②食事計画 ③調理法や味付けのバランス ④食事の場面を考えた調理 □ スマスク端末の活用	【知識・技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。 ・食品の栄養的特質、調理上の性質について理解している。 ・健康や環境に配慮した食生活について理解している。 ・食品衛生について理解している。 ・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・食品の調理上の性質、食の安全について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなど課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	14
定期考査			○	○	1
単元 食生活をつくる（2） ・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身に付けおいしさについて科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関心を持つ。 ・日本の食文化の特徴を確認する。 ・世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。 ・食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。	5 調理の基礎 ①調理法や味付けのバランス ②食事の場面を考えた調理 6 食生活の文化と知恵 ①日本の食文化 ②世界の食文化 7 これからの食生活 ①食糧生産と食糧問題 ②食の安全性の確保 ③食をめぐる問題とその対策 ④持続可能な食生活を営む力 □ スマスク端末の活用 □ 視聴覚教材 □ ワーク	【知識・技能】 ・おいしさの構成要素について理解している。 ・目的に応じた調理に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身につけている。 ・食の安全について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	8

2 学 期	単元 衣生活をつくる ・被服を着用する社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身につける。 ・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。 ・被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 ・被服の管理や手入れの工夫について理解する。 ・資源の視点で自分の衣生活を見直す。	1 被服の役割を考える ①高校生と衣生活 ②着るとは ③被服の保健衛生的機能 ④被服の社会的機能 2 被服を入手する ①被服の入手 ②被服と表示 ③被服の材料 ④被服材料の性能 ⑤被服材料の性能の改善 3 被服を管理する ①被服の手入れ ②洗剤と漂白剤の働き ③仕上げ、保管 4 これからの衣生活 ①被服の生産と消費 ②被服の再資源化 ③環境に配慮した衣生活 5 被服実習 スエーデン刺しゅう ☐ スマスク端末の活用	【知識・技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。 ・被服材料、被服構成、被服衛生について理解している。 ・被服の計画・管理について必要な技能を身につけている。 ・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 【思考・判断・表現】 ・被服の機能性や快適性について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなど課題を解決する力を身につけている。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について課題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	12
	単元 子どもと共に育つ ・子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。	1 子どもの育つ力を知る ①子どもの育つ力 ②生まれつき持っている能力 ③身体の発達 ④心の発達 ⑤子どもと遊び 2 子どもと関わる ①子どもと関わる ②子どもの発達と保育 ③これからの保育環境 ④子どもの権利と福祉 ☐ スマスク端末の活用 ☐ 視聴覚教材 ☐ ワーク	【知識・技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解する。 ・親の役割と保育について理解している。 ・子どもを取り巻く社会環境について理解している。 ・子育て支援について理解している。 【思考・判断・表現】 ・子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10 8
	単元 超高齢社会を共に生きる ・超高齢社会の背景を理解する。 ・高齢者が生きがいを持って生活するために、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。 ・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり 定期考査	1 超高齢・大衆長寿社会の到来 ①少子化・高齢化の進行 ②ライフステージとしての高齢期 2 高齢期の心身の特徴 ①老化と成熟 ②高齢期の健康と自立 3 これからの超高齢社会 ①高齢者の自立を支える ☐ スマスク端末の活用 ☐ 視聴覚教材 ☐ ワーク	【知識・技能】 ・高齢者を取り巻く社会環境について理解している。 ・高齢期の心身の特徴について理解している。 ・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 ・生活支援に関する基礎的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域社会及び社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、	○	○		
				○	○		1
3 学 期	単元 住生活をつくる ・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支える生活拠点となる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。	1 住生活の変遷と住居の機能 ①住居の機能と変化 ②平面図を理解する ③住居の計画 2 安全で快適な住生活の計画 ①住居の防災 ②健康な住生活 ③スマスク端末の活用 ☐ 視聴覚教材 ☐ ワーク	【知識・技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。 ・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・住居の機能性や快適性について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 ・住居と地域社会とのかわりについて問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4 4
	単元 経済生活を営む ・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 ・責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解する。 ・消費者には権利と責任があることを理解する。 ・経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。	1 情報の収集・比較と意思決定 ①消費生活と意思決定 ②よりよい意思決定のために 2 購入・支払いのルールと方法 ①購入と契約 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す ①安定した経済生活を営む ②家計をマネジメントする ③家計資産をマネジメントする ☐ スマスク端末の活用 ☐ 視聴覚教材 ☐ ワーク	【知識・技能】 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解している。 ・生活情報を適切に収集・整理できる。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者の権利と責任について理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解している。 ・家計の構造について理解している。 ・家計管理について理解している。 ・生活における経済と社会との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を発見して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 ・責任ある消費について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見出して課題を設定し、論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画において、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
							合計 70